

【医療・介護の職場に働くすべてのみなさんへ】

## 署名はみんなを守る大きなチカラです！

**夜勤制限・大幅増員署名を大きく伸ばし、もっと職場を働きやすくしましょう！  
最終盤 1ヶ月間の取り組みに、「もうひとがんばり」みなさんの力をあつめてください！！**

2016年4月10日 広島県医労連 看護闘争委員長 佐々木 理絵

### 職場にはたらく、すべての皆さんによびかけます。

いま皆さんにご協力をお願いしている『安全・安心の医療・介護の実現と夜勤改善・大幅増員を求める国会請願署名』は、3月末現在で、全国約24万筆・広島県では1.6万筆を超えました。私たちはこの署名を5月に国会へ提出するために、ラストスパートに入っています。署名に書かれた私たちの要求を国会で審議させ採択させること、そのチカラで、すべての医療・介護現場の夜勤負担の軽減や職場環境を改善する制度改正を実現させる事が目標です。そのためにもうひとまわり大きく署名を伸ばす必要があります。どうかご協力ください！

### 署名は、厳しい現場の実態を改善させる、確かなチカラを発揮してきました。

「医師・看護師・介護職員の大幅増員を」「患者・利用者の負担を減らし、安全・安心の医療と介護を」～この10年間は、ほぼ同じ要求を署名に託し、皆さんから寄せられたその署名を、私たちは毎年30万筆近く国会に届け続けてきました。

私たちは、27年前にも同様に、患者さんをはじめたくさんの方々に支えられ、「ナースウェーブ」と呼ばれた社会的なムーブメントを巻き起こしました。3年間で540万筆もの署名を寄せていただくなかで、全会一致で「看護師増やせ！」の要求が国会で決議され、日本で初めて看護職員の労働条件改善と養成・確保に国と自治体が責任を持つことを明記した「看護師確保法」が制定されました。この3年間で看護師の初任給も約3万円上昇(約18万円)し、同時期の診療報酬も大きく引き上げられました(90年3.71%)。署名に託された私たち現場の声と市民の要求が、全国の医療現場に反映する職場改善・労働条件改善への大きなチカラとなったのです。



10年前からの「大幅増員闘争」では、06年には「7対1入院基本料」が新設され、入院基本料の算定に「夜勤72時間」の制限ルールも設けられました。翌07年には150万筆の署名を提出し、参議院で要求内容が採択されました。その成果として、翌08年には長く続いた抑制政策をひっくり返し、医師養成数の増加へと転換させ、09年には介護職員処遇改善交付金(賃金底上げのための交付金)という初めての取り組みも政府に取らせることができました。

【裏面へつづく】

【表面からつづく】

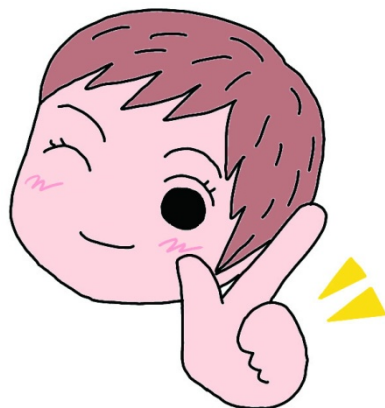
以来今日まで、私たちは「職場が実感できる改善につなげよう」と運動を継続し、労働時間管理の適正化や、離職防止のための取り組みの啓発事業など、行政が積極的に「職場の勤務環境改善」を促すことを目的とした厚生労働省の通知も相次いで出させ、今日につながっています。15年には看護師の初任給は約20万円となり、他産業との格差も大きく縮まりました。今春の診療報酬改定は「2年連続のマイナス」と、政府の医療切り捨て姿勢を反映した厳しい状況となりましたが、その中でも「看護職員夜勤配置加算」点数の引き上げや新設が行われており、その取得要件には私たちの夜勤負担軽減要求でもある「勤務間隔11時間以上」「正循環シフト」の採用が盛り込まれています。

**提出した署名の数と、実現させた改善の内容・成果には、関係性がみられます。**

署名に託された、皆さんをはじめとする多くの現場の仲間と患者・利用者、市民の方々の要求は、その数が政治を動かす現実のチカラにつながっています。署名を軸にして、私たち労働組合は国会議員や地方自治体に働きかけ、要求内容への共感と支持を広げ、具体的な政策にみのらせるよう働きかけていきます。

そうして実現させた制度は、組合のない多数の職場の労働条件の底上げにも作用するため、一つ一つの施設や労使関係だけでは到達できない、医療や介護の改善につながる取り組みとして成果をあげることになっていくのです。今はどこでも常識となっている病棟の「複数夜勤・交替制夜勤」も、かつて「1人宿直・全寮制」を許さないと立ち上がり行動した、私たちの先輩の運動の成果です。

**「夜勤回数や夜勤の時間を減らし、休日をもっと増やしたい!」「手厚い配置を実現し、看護や介護を充実させたい!」。署名がもっと集まれば、誰もが願うこうした要求が前進させられます。私たちも、健康で働き続けられる職場を守り、次の後輩たちに引き継いでいきたいと考えています。**



「組合員1人あたり10筆」を広島県でみると、あと3.5万筆ほどとなり、「まだ遠くに見える」というのが組合員の仲間の実感かもしれません。

でも、職場にはたらくすべての皆さんに少しずつでもご協力いただければ、この1ヵ月間のなかでも到達することは可能な目標でもあります。

どうか、もうひとまわり、皆さんのお力を貸してくださいませようお願いします!